

さかあ町議会

Vol.92

発行 高知県佐川町議会

第二十二回 商工会青年部全国大会 主張発表大会出場!!
高知県勢 **初** 中国・四国ブロック代表 佐川町商工会青年部

尾崎俊一郎



新キービジュアル決定!
詳細は裏表紙 P22



令和3年度決算報告 P2
令和4年度補正予算 P8
9月定例会：一般質問に9人... P10

今回の表紙：「佐川町商工会青年部」のみなさん (P20)

令和3年度

一般会計・特別会計の決算を認定

9月定例会

9月定例会は、9月2日から9日までの会期で開かれました。
令和3年度決算の認定のほか、令和4年度補正予算をはじめ、条例改正など議案・認定18件、人事案3件、報告4件を審議し、採決の結果、賛成全員、及び賛成多数で可決しました。

一般会計

前年に比べ、歳入は、1億9千万円余りの減額、歳出は、5百万円余りの減額となっている。

歳入において、地方税は個人町民税、固定資産税が減少し、法人町民税、たばこ税が増加となった。また、特別定額給付事業費・事務費補助金等の減少による国庫支出金の減額や災害復旧費補助金、介護基盤緊急整備事業費補助金等の減少による県支出金の減額となっている。

歳出においては、前年度と比較し衛生費、商工費、土木費、消防費で増加し、総務費、教育費、災害復旧費で減少している。

水道事業

事業収支においては、純利益3千万円弱の黒字決算となっている。

南海トラフ地震等の災害に備えた管路及び施設の耐震化を進めている。



進む水道耐震化

国民健康保険事業

歳入約17億9千9百万円、歳出約17億6千4百万円となっている。

被保険者は、2千922人、世帯数1千958世帯。

学校給食

歳入歳出ともに約5千8百万円となっている。前年度比で歳入歳出とも約80万円増加している。

令和4年度から給食費無償化を実施している。



病院事業

事業収支においては、純利益2千6百万円余りの黒字決算となっている。年間取扱患者数は、入院患者数約3万1千人、外来患者数約5万3千人となっている。

介護老人保健施設の利用者は、4千221人で、デイケア、デイサービスの利用者はさくら荘4千654人、斗賀野荘5千348人となっている。

介護保険事業

歳入約17億1千6百万円、歳出約16億8千5百万円となっている。

65歳以上第1号被保険者は、4千948人。



令和3年度各会計の決算状況

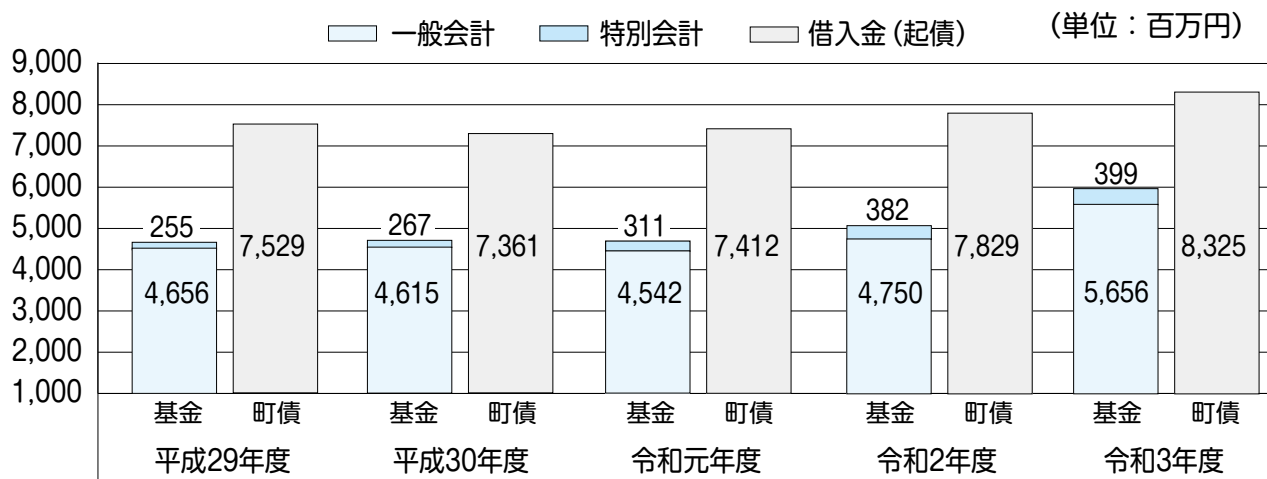
歳出

総額148億833万円

(単位：円)

会 計 名		決 算 額			
		歳 入	歳 出	翌年度繰越額	実質収支額
一 般 会 計		93億2,229万	91億6,525万	4,633万	1億1,071万
特 別 会 計	国民健康保険	17億9,901万	17億6,402万	0	3,499万
	学校給食	5,838万	5,836万	0	2万
	農業集落排水事業	3,587万	3,587万	0	0
	介護保険	17億1,596万	16億8,491万	0	3,105万
	後期高齢者医療	2億4,109万	2億3,704万	0	405万
	病院事業	17億3,727万	17億1,125万	0	2,602万
水 道 事 業 会 計		1億8,108万	1億5,164万	0	2,944万
総 合 計		150億9,095万	148億834万	4,633万	2億3,628万

※水道・病院事業特別会計は税抜収益的収支を記載



※借入金は、特別会計・一般会計の合計金額を記載

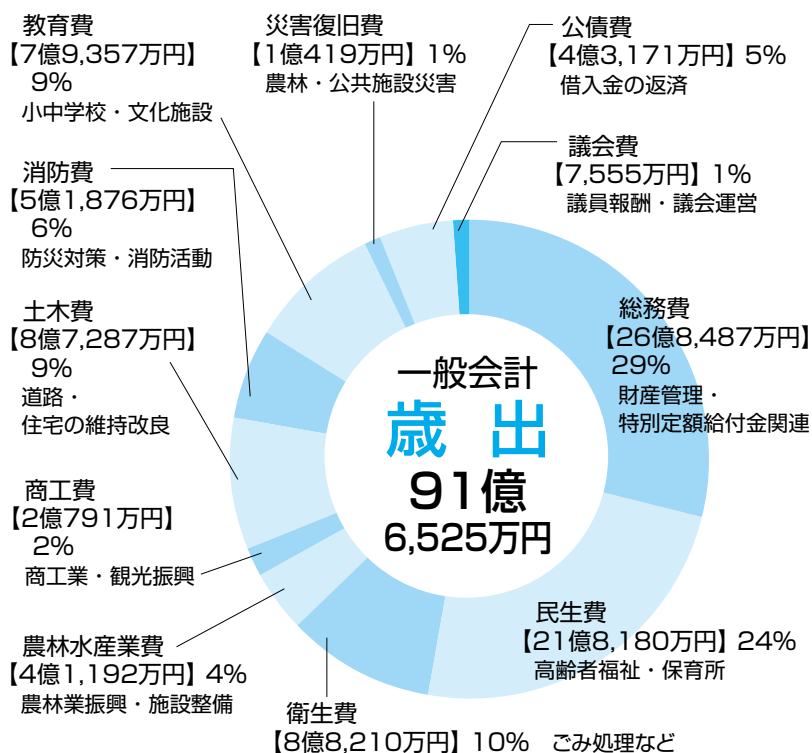
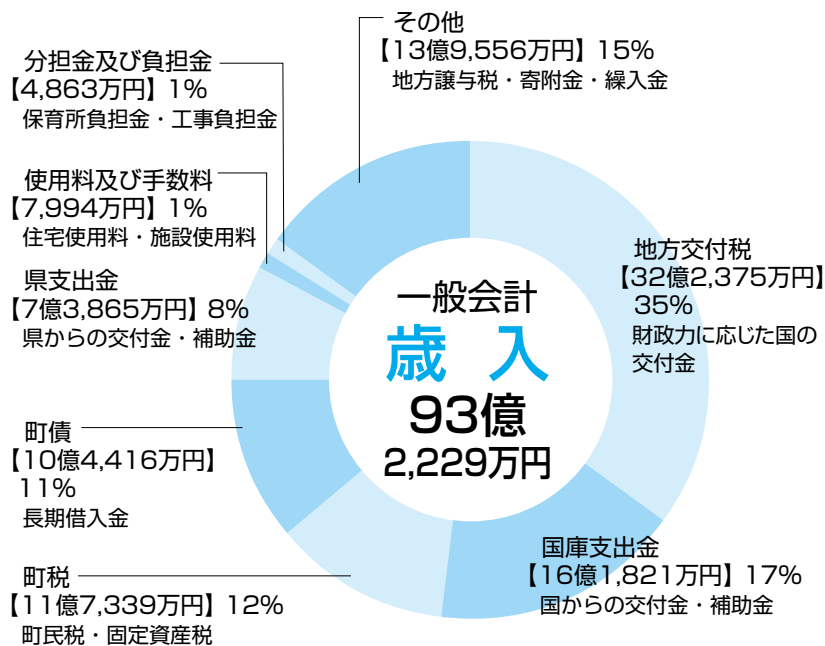
町の基金
町の基金(積立金を含む)の状況は、令和3年度末現在高9億2千万円強増加し、年度末残高は60億5千万円余りとなっている。

町の借入金
一般会計では、借入金発行額は新たに、10億4千万円余り。
特別会計(水道事業会計含む)では8千万円弱増加。全体としては11億2千万円強の増加。総額は83億2千万円強となっている。

どう生かされた？みんなのお金

住民のいのちと暮らしを守る

一般会計歳入・歳出を円グラフに表しました。



令和3年度 一般会計決算

岡 坂本議員 町税徴収率は県内で何位くらいか。

約1千400万円の森林環境税の使途は、また満額になるのはいつか。

合併浄化槽の補助金の対象について説明を。

真辺税務課長 本町の町税徴収率は、99.7%で、県内34市町村中、大川村に次いで2位である。

下八川産業振興課長 森林環境税の使途は、山林所有者への意向調査で248万円。作業道整備補助で704万7千円。町管理の林道、作業道管理費用で236万5千円。町民向けや林業従事者スキルアップ研修費用に220万円。

令和6年度に満額になり、林業従事者が増え、当初算定より200万円増の2千456万円になる。

山本町民課長 合併浄化槽の補助金対象は、新築だけでなく単独処理浄化槽及び汲み取り式を合併処理浄化槽への交換も対象となる。



岡 橋元議員 ぐるぐるバスの利用の在り方で検討していることは。

農業振興費の報酬5千80万円で、地元に残る地域おこし協力隊を支援する職種や人数は。

道の駅設置場所の地質調査の結果は。

町管理河川の浚渫工事の進め方の手続きは。

岡田まちづくり推進課長 乗降場所の確認、アンケート調査などをもと

に、地域意見交換会、関係機関の協議で、既存路線の再編などを考慮して次期計画を進めている。27名の地域おこし協力隊の報酬で、自伐型林業14名、発明ラボ8名、農業関係2名、観光関係2名、まちまるごと植物園事業1名。

下八川産業振興課長 建築場所2カ所でボーリング調査を行い、セメント安定処理での地盤改良工事を行った。

藤本建設課長 町の方で計画的に実施していくものと、住民の要望に沿って実施していくものがある。測量し工事設計書を作成して順次進めていくので、お待たせしているところもある。

県管理の春日川や柳瀬川は、毎年春先に町長から県議会へ要望を出している。住民からの声は、その都度越知事務所に要望している。

岡 下川議員 R3年度の建築物耐震対策緊急促進事業で、2件の除却で

の国、県、市町村、個人の負担割合と採択条件の簡潔な説明を。

藤本建設課長 財源の内訳は、国が5分の2、県、町、個人がそれぞれ5分の1である。採択要件は、緊急輸送道路に指定されている国道33号線や県道沿いの建物の持ち主に除却の案内をしている。

令和3年度病院事業 特別会計の決算

岡 橋元議員 決算を踏まえて、コロナ感染拡大に向けて、病院の運営協議会、経営者の中で、検討していることは。

池内病院事務局長 この間、病院内でもクラスターが起きた中、10名の陽性患者の入院を受け入れたりしてきた。引き続き住民の皆さんに高北があつてよかったと捉えて戴けるように、少ない職員一同で頑張っていく。

監査意見(要旨)

監査委員
上田 益 英
松 浦 隆 起



令和3年度の一般会計の状況は、歳入において、前年度からの増加額が大きいものは、地方交付税約3億4千7百万円の増額、ふるさと納税の増に伴う寄附金約1億1千5百万増額となっている。減少額が大きいものは、特別定額給付事業費・事務費補助金、介護基盤緊急整備事業補助金等の国庫支出金は約7億9千6百万円の減額となり、災害復旧費補助金、介護基盤緊急整備事業費補助金の減少により、県支出金は約9千1百万円の減額となっている。歳入総額は、約1億9千万円の減額となっている。

歳出においては、前年度と比較して衛生費、商工費、土木費、消防費で増加し、総務費、教育費、災害復旧費で減少している。

未収金の状況は、一般会計、特別会計を含めると、収入未済額は、約2千万円。自主財源の確保は収納業務の継続的な努力を期待する。

今後は、財政状況を踏まえ、投資のバランスを図りながら、必要な財源を確保し、住民の負託と信頼に応えるべく、計画的、効率的かつ効果的な行政運営を推進されることを要望して監査報告及び意見とする。

令和 3 年度決算

この事業に議会が

注目

9月定例会で、令和3年度の決算が認定されました。議会が注目した令和3年度の事業を紹介します。



整備から16年以上経過し
部品の製造中止、不足による
修理不可能状況となつて
いる課題を解消し安定した
運用を図るため令和2年度
から継続事業となっており、
令和3年度は、防災行政無
線のシステム及び機器を更
新したことにより、安定した
運用が可能となった。

**防災行政無線
更新事業**
2億3,988万円



子育てしやすい町づくり
の一環として、子育て世帯
の利用が多い龍王公園の老
朽化したトイレの建て替え
を実施、併せて既存設備の
改修及び一部遊具の更新を
行った。

**龍王公園
改修工事**
4,029万円



佐川町道の駅事業
7,703万円

道の駅建設に向けた基本
設計及び実施設計を行った。
また建設予定地をボーリン
グによる地質調査を実施。
また、開業スケジュールを
勘案し、浄化槽の設置工事
を完了している。道の駅を
運営する組織として「一般
財団法人しあわせづくり佐
川」を設立した。



新文化拠点整備に向けて、
基本計画策定を実施した。

新図書館 整備事業 1,013万円



災害発生時の防災拠点に
なる本庁舎について発災直
後から安全に継続して使用
可能なものとするため、建
築非構造部材及び建築設備
の耐震化、自家発電設備の
設置等を実施した。

役場庁舎非構造部材等 耐震改修事業 1億2,280万円



町民の誰もが利用できる
地域福祉の拠点であり、町
内5施設(尾川、斗賀野、
黒岩、加茂、佐川)で事業
展開している。施設の機能
として、集い(送迎あり)、
訪問、相談、生活支援、交流
学ぶ(講演等)が実施され
ている。

あったかふれあい センター事業 4,629万円



地域公共交通事業 3,818万円

さかわぐるぐるバスの運
行、路線バス補助金、地域
公共交通会議の運営等。
地域公共交通会議を開催
し、ぐるぐるバスの運行見
直し等を行っている。
また、戸別訪問による新
路線説明や聞き取り及び利
用促進も実施した。

令和4年9月補正予算

(単位:円)

会計名		補正額	補正後の額
一般会計		1億7,046万	96億7,683万
特別会計	国民健康保険	3,165万	18億561万
	介護保険	1,388万	18億6,118万
	後期高齢者医療	415万	2億5,655万
病院事業特別会計		759万	19億9,379万

9月
補正予算
ピックアップ

質疑

議案第70号 物品購入契約の件(青山文庫展示ケース3台)

問 下川議員 エアタイトケース(展示ケース)の納期がR5年1月31日だが、時間がかかる理由は。

廣田教育次長 エアタイトケースは特殊な設備で、受注生産的な形で時間を要する。納期は県が進める博覧会事業に間に合う。



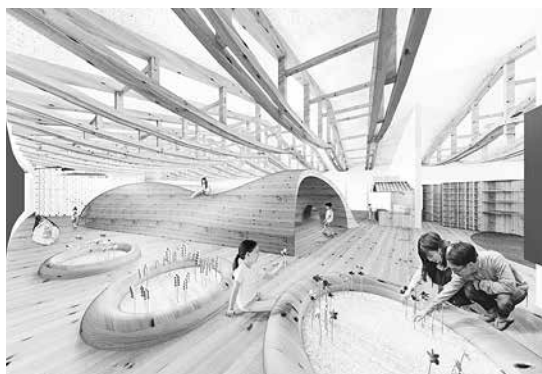
エアタイトケース

ピックアップ

おもちゃ美術館事業

6600万円

館内の造作物の整備費、おもちゃ製作にかかる委託料及び開業に向けた人材育成・運営支援等にかかるソフト面の委託料。



内装イメージ図

農業経営継続支援金

2000万円

新型コロナウイルス感染症等による影響で経営の継続が懸念される農業者へ支援金を支給。

園芸団地整備特別対策事業

929万円

新規就農者(イチゴ)に対する園芸ハウス整備への補助。

地域づくり事業

1034万円

集落活動センター加茂の里増築工事(地域振興策)。



加茂の里



園芸用ハウス

人 事

佐川町教育委員会
教育長

濱田 陽治 氏

吾川郡いの町天王北
1丁目6番地3

佐川町教育委員会
委員

渡邊 紀氏

佐川町西組1049
番地10

固定資産評価審査
委員会委員

永田 満子 氏

佐川町加茂1773
番地1

条例改正

職員の育児休業等
に関する条例の一
部を改正

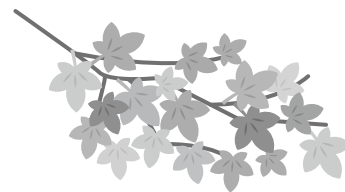
地方公務員の育児休
業法改正による育児休
業の取得回数制限の緩
和等に伴い、所要の改
正を行う。

議員及び町長の選
挙における選挙運
動の公営に関する
条例の一部を改正

物価変動に鑑み、選挙
運動用自動車の使用及
び選挙運動用葉書等作
成の公営に要する経費
にかかる限度額を引き
上げる改正を行う。

高知県広域食肉セ
ンター事務組合規
約の一部変更

高知県広域食肉セン
ター事務組合の解散に
関する条項を追加する
必要があるため変更
を行う。



議員各位の意思表明

賛否表（令和4年9月定例会）

○：賛成

●：反対

－：議長

欠：欠席

	齋藤 光	岡林 哲司	山本 和輝	田村 幸生	橋元 陽一	宮崎 知恵子	西森 勝仁	下川 芳樹	坂本 玲子	森 正彦	松浦 隆起	岡村 純正	永田 耕朗	藤原 健祐
佐川町教育委員会教育長の任命について	○	○	○	○	○	○	－	○	●	○	○	○	○	○
佐川町教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○
佐川町固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度佐川町一般会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度佐川町国民健康保険特別会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度佐川町学校給食特別会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度佐川町農業集落排水事業特別会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度佐川町介護保険特別会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度佐川町後期高齢者医療特別会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度佐川町水道事業会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度佐川町病院事業特別会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度佐川町一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度佐川町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度佐川町介護保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度佐川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度佐川町病院事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○
職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○
佐川町議会議員及び佐川町長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度佐川町水道事業会計利益剰余金の処分について	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○
高知県広域食肉センター事務組合規約の一部変更について	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○
物品購入契約の締結について	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○



松浦 隆起 議員

問 ヤングケアラーへの支援 本町の実態は

答 ヤングケアラーは5名

問 大人に代わって病気や障害のある家族の世話をする子どもたちが、ヤングケアラーと言われている。このヤングケアラーの支援の取り組みとして、大事なことは、現状を把握することだと



実態把握が急がれる

思っている。本町における実態は。

岡崎健康福祉課長 本町の実態については、現在、ヤングケアラーの状態にある子どもとして把握しているのが、高校生で2名、中学生で2名、小学生で1名の計5名である。

健康福祉課だけでなく、教育委員会、地域の方々にも、ヤングケアラーの問題について、認識を共有させていただきたいと思っている。

問 投票機会の確保への取り組みは 検討するべきだ

答 持ち帰り報告する



投票しやすい環境づくりを

問 一人で投票所まで行くことが難しい高齢者の方を含め、有権者の投票機会の確保に取り組むべきだ。無料の送迎やタクシー券の配布、期日前の移動投票所について検討するべきだ。また、スーパーなどで投票できる共通投票所についても検討するべきだ。

片岡選挙管理委員会事務局長 提案いただいた内容については、選挙管理委員会の方に持ち帰りをさせていただき、報告をさせて頂く。共通投票所についても、集落活動センターの活用も併せて考えていけたらと思っている。

問 学校からの要望事項 計画的に取り組むべきだ

答 総務課と話していく

問 学校が学校施設や通学路の安全対策について毎年毎年、要望を出しているが、なかなか改善しないという現実がある。要望事項をリスト化して、取り組みが済んだものは消し込みし、リストの優先順位を上げて、計画的に取り組む必要がある。



危険な通学路

廣田教育次長 優先順位を学校と協議をして決定しているが、その年での、事業の見送りということでは実際に起きている。積み残しについては、教育委員会としても把握しているの、2年3年積み残しているものは、町長、総務課と協議していきたい。



坂本 玲子 議員

問 尊厳を持って生き死にたい。安心して人生の最期を迎えるために、自宅や施設で看取りが出来る訪問看護ステーション設置が必要だ。高北病院に訪問看護ステーション設置を。

問 高北病院に 訪問看護ステーション設置を

答 実施に向け検討していく



訪問看護に向かう病院スタッフ

片岡町長 在宅医療のニーズが高まっている。訪問看護ステーション設置にはスタッフの確保、ニーズ調査、町財政、関係機関との協議が必要となる。町立病院は、住民の要望に可能な限り応えていかなければならない。実施に向けしっかり検討していきたい。

問 低所得者も高齢者施設に入所できる対策を

答 取り組み見いだしたい

問 生活保護の方は、税がかからず介護や医療の自己負担がないため生活保護費で高齢者施設に入所できる。しかし国民年金だけの方は、特別養護老人ホーム以外は入所できない。生活保護世帯は入れるのに低所得の方は入れない制度はおかしい。低所得者も高齢者施設

片岡町長 国の制度を変えるのは難しい。町としてどうやって対応していくか関係機関とも協議しながら取り組みを見いだしていきたい。



低所得者が入りやすいしくみを

問 「聖地を歩くコース」の整備 継続的な維持管理を

答 継続できる方向で検討

問 牧野博士を育んだのは佐川の自然だ。「聖地を歩くコース」の整備は、子どもたちが自然の中で遊び、感じ取り、自ら生きたる力を獲得していく環境作りしていくことで、次世代を育てる。子どもたちが体験できるよう力を入れて欲しいがどうか。「聖地を歩くコース」は住民主体で整備し、その活動を町がしっかりとサポートしていくべきだ。また来年度以降も継続

的な維持管理が必要だ。管理費用の予算化を。



聖地を歩くコースを検討中

濱田教育長 幼少時の体験は一生に大きな影響を与え、厳しい時代を生き抜く力を育む。今も予算をつけているが、今後とも一層推奨していく。
岡田まちづくり推進課長 町ではコース整備に必要な費用を補助する制度がある。コースの整備等を進めるための住民組織の活動が始まったと聞いている。そういった団体を大切にしながらまちづくりを進めていきたい。事業が継続できる方向で検討していく。



橋元 陽一 議員

問 高北病院が全国表彰を受賞した 何が評価されたのか

答 地域医療の役割を担って 取り組んできたこと

問 今年度、全国で自治体優良病院として4病院が選ばれ、高北病院が受賞した。病院事業の何が評価されたのか。

片岡町長 広報の記事は小さくなったが、高北病院が表彰を受け大変ありがたいと思う。

今後町として財政支援や医師確保など連携して取り組みをすすめる。

報8月号の表紙裏に紹介されたただ。町政として高北病院の業績の評価が低いのではないか。



表彰された高北病院

問 課長の非違行為の事実確認と 処分の手続きは

答 双方へ聞き取りをして、 懲戒委員会で審議

問 4月19日の課長の非違行為の対応に時間を要した経過は。

いつ懲戒委員会を招集し、また処分の決定や処分後の対応について顧問弁護士との助言を受けたか。

職場内で同様の事態が起きたとき、整然と対処するために懲戒委員会に第3者機関を確立することが必要ではないか。



働きやすい職場を

田村副町長 双方への、特に被害者の聞き取りに時間を要した。5月31日に懲戒委員に招集通知した。

顧問弁護士には処分量定の決定について相談をした。処分後の当事者間の対応の話はしていない。

今後、相談しやすい仕組み、第3者機関の意見を受ける仕組みの構築を考えていく。

問 学校用務員の正規採用を求める

答 現在、考えていない

問 条例定数で学校職員の定数を設定する根拠の法律は何か。

人件費は地方交付税の算定基準にどう位置付けられているか。

学校にかかせない職員として、正規職員での配置の検討を求める。

片岡総務課長 学校職員を設定する根拠法は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（略称地教法）、第31条3項の

規定による。

普通交付税の基準財政需要額の教育費の中で、用務員事務委託料として1校あたり298万1千円を計上している。

片岡町長 学校教育法施行規則第65条で従事する用務を規定している。現在はパートの会計年度任用職員で対応している。

正職員の配置は、現在考えていない。



学校に必要な用務員さん

その他の質問

- ・新型コロナウイルス対策について
- ・新産廃施設について
- ・国土強靱化地域計画について



森 正彦 議員

問 スポーツ庁の有識者会議が、2023年から2025年を改革集中期間として、休日の部活動の地域移行を進め、その後、平日にも広げる内容の提言を出した。その背景について問う。

問 地域移行の背景は

答 部活動の維持、厳しい状況



部活の維持という課題

濱田教育長 部活動は人間形成の機会や多様な生徒が活躍できる場として中学生の学校生活にとつて非常に重要な場である。これまでの部活動は、教員による献身的な勤務の下で成り立ってきた。休日を含めた指導など、過労死ラインに達する時間外勤務もある。また、経験のない教員が指導せざるを得ない状況もある。さらに生徒数減少で学校単位での部活動の維持が困難になる事例が全国的にも増加しているということが背景にある。

問 中学校活動地域移行 町の考えは

答 地域指導者との一貫した指導体制の確立が重要



指導体制づくりが重要

問 中学校部活動の地域移行について、佐川町はどう考えているのか。

濱田教育長 今後、移行するとしても地域指導者の確保や育成という課題がある。学校教育の一環として本来の趣旨を逸脱することなく、学校と地域指導者が協働して一貫した指導体制を確立することが重要である。簡単に進むとは考えていないが、佐川町の実態に即した推進計画の策定と共に、可能なところから段階的にすすめていくことになると思う。

問 令和3年度決算 総括を問う

答 達成度 96.3% 1億1千万の黒字

問 令和3年度の決算からみて、予定していた事業はできたか。

片岡総務課長 歳出予算額の約98億3千800万円に対し、令和4年度の繰越予定額を除くと、約96.3%の達成度となり予定していた事業は概ね達成できたといえる。

財政的に交付税の大幅増額等により実質収支も黒字となり、基金残高は増加している。

片岡町長 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、佐川町内の経済状況も厳しい状況が続いた。多くの住民の方々が困難な生活を余儀なくされる中、町の財政状況と社会経済情勢の変化を認識しながら、関係団体や町民との連携協働による事業を実施することができた。

内容としては住民の暮らしを守ることを最優先に取り組み、住民税非課税世帯に対する臨時給付金、臨時特別交付金を始めとした新型コロナウイルス感染症対策事業や地域振興対策事業などを実施し、最終的な実質収支が約1億1千万の黒字という結果になった。

齋藤
光
議員



問 これからの移住政策は

答 積極的に取り組んでいく

問 片岡町長は、移住政策に「あまり乗り気ではないのでは？」との声も自分には届いている。
今後、片岡町長は移住人口拡大により一層力を入れていくつもりはあるか。

片岡町長 移住政策に乗り気ではないような捉え方をされないように積極的に取り組んでいく。
人口減少への対策を含め、いろいろな方に佐川町へ興味を持ち、佐川町を好きになり、移住していただくような施策は、しっかりと努めていきたい。



佐川に移住してよかった！

問 学校の児童数、今後どうなる

答 児童数減少続いている



児童数減少、まちの課題

問 少子高齢化は、日本全国どこでも起きている問題で、佐川町でも課題となっている。
佐川町における今後の児童数などの将来を予測したデータはあるか。
また小規模校の児童数低下が厳しい状況だが、現状の取り組みは。

濱田教育長 小規模学校について、尾川小学校は令和5年度において児童数23名、ここから1年ごとに19人、17人、15人、

17人と推移すると予測。
黒岩小学校は令和5年度において児童数41名、ここから1年ごとに41人、36人、28人、19人、16人と推移すると予測している。

尾川小中学校と黒岩小学校については、小規模校の特性を活かし、個に応じたきめ細かな指導・支援ができるように、教員配置の配慮や、特別支援教育支援員の配置など教育環境の整備に努めている。

問 地区懇談会の目的は

答 住民の声を聞く事

だったが、議員や関係者の参加人数も、この54名の中に含まれている。
この地区懇談会の目的は何か。またその目的は果たせたのか。

片岡町長 地区懇談会では、各課局が実施している大型事業の概要、また進捗状況などの説明。そして住民の皆さんが感じている困りごと、課題要望等についてお聞きするとの思いから開催した。
成果については、一定の成果が出たと考えている。

問 今年7月に町内5地区で地区懇談会が行われたが、合計で54名の参加



佐川地区での懇談会のようす



宮崎 知恵子 議員

問 災害時の支援手続きは

答 申請書の提出を



災害時に提出する罹災証明書

問 災害があつた場合、被害者に支払われる被災者生活支援金等の受給手続きに、添付が必要な罹災証明書交付の手続きは。

片岡総務課長 被災された方が市町村に申請し、被害状況を調査、被害の程度を判断し証明書を交付する。

問 高北病院の表彰 経営改革の経緯は

答 職員全員参加で

経営改革を実行

問 高吾北地域の唯一の公立病院として、地域医療の確保に重要な役割を果たし、また経営の健全化が確保されて、令和4年度自治体立優良病院総務大臣表彰を受賞した要因と平成5年度赤字経営からの取り組みについて。

限を町長から病院管理者に移行したことで、公営企業の独立性の強化と病院経営に必要な効率的で効果的な取り組みが可能となった。

池内病院事務局長

平成5年度から赤字経営が続き、平成15年度には不明金事件が発覚し危機的状況に陥った。経営改善と地域住民からの信頼回復のため、経営革新推進本部に7つの部会を設置し、職員全員参加による病院改革を実行した。それにより平成19年度に黒字に転じ、以来黒字経営を続けている。

また、経営形態を見直し、組織や人事などの権



自治体立優良病院総務大臣表彰

問 プレミアム商品券 事業の目的は

答 困っている方を 支援する事業



町内の事業者を応援！

こうした施策は、消費に回ったら終わりであるため経済効果も限定的で後々、間違いなく税金という結果となって返ってくる。何か経済効果を生む持続的に町を潤していく考えが町のため必要と考える。例えば、石川県能登町では、いかキングという巨大いかのメニューをコロナ交付基金で経済効果が6億円あった話もある。

今回、発行する商品券の目的は何か。

下八川産業振興課長 プレミアム商品券事業については、今困っている方や商店を支援する事業である。将来につながる事業としては、商店街のキャッシュレス決済の普及について関係機関と検討を進めている。

その他の質問
・新文化拠点の進捗状況を聞く

問 商品券は販売促進のため、有権者にとつてわかりやすい生活の補助として全国的に進められているが、今や日本政府の借金は約1千200兆円で、国民一人あたり約1千万円の借金となっている。



下川 芳樹 議員

問 コロナ対策、対象外農家へも農業継続支援を

答 国、県の対応を注視し施策を考える

一方で今回の事業の対象とならない零細農家もある。専業農家も兼業農家も農業が継続できる、町単独での支援を検討するべきだ。

下八川産業振興課長 3

つの支援策で、すべての農業者に支援できるものではないことは認識している。肥料、資材の高騰だけでなく農産物の販売価格の低迷もあり、厳しい状況であることも承知している。

現在の状況が継続するのなら、国、県の対応を注視し必要な施策を考えていく。



一次産業への支援を！

問 9月補正で農業部門へのコロナ対策支援として、国のコロナ関連予算を活用して3つの事業が提案されている。

問 産廃振興策、早期に地元協議会の開催を

答 早期に開催し情報共有を図る

山本町民課長 地域振興の円滑な事業推進に関する情報交換の場は、現在も開催できず申し訳ない。できるだけ早い時期に開催し、必要な情報を提供して、地域と町の情報共有を図っていく。



加茂地区説明会の写真

問 本年3月27日産廃施設に起因して締結した環境保全協定書に基づき、地元協議会を設立した。これと同時に地域振興策の内容や計画について、地元住民で情報が共有できる組織も立ち上げた。しかし3月以降この組織が機能していない。早期に会議を開催するよう。

問 投票率向上対策会議の継続を

答 選挙管理委員会で検討する

片岡総務課長 投票率向上のためのありがたい提案だと思う。

今後取り組むことは、現状進んでいない状況であり、越えなければならぬ課題もある。しかし、少しでも前進できるようにメンバーを募って考えられたらと思う。選挙管理委員会に持ち帰り検討する。



投票率の向上への対策が必要！

問 近年、有権者の選挙離れが進んでいる。本年7月の参議院選挙で町の投票率は、全国・県平均を下回っている。町は昨年2回、投票率の低下を受けて投票率向上対策会議を開催した。昨年10月の町長、町議選では成果も出ている。

まずは身近な町議会へ興味や関心を持つてもらうために、投票率向上対策会議の継続を望む。



田村 幸生 議員

問 3月に改正された佐川町防災計画の中に記された避難所運営の訓練について。

問 避難所運営の訓練について

答 多くの住民の参加が重要

併せて、福祉避難所設置の考え方も問う。

片岡総務課長 昨年度、

黒岩小学校と尾川小中学校で避難所運営マニュアルにより運営訓練を実施した。

訓練では、施設の開設から役割分担、避難所開設・避難者の受け付け、段ボールパターションの設置までを行い、行動確認ができた。

課題は、感染症や災害時要配慮者対策を盛り込む実効性のある運営マニュアルにするため、マニュアルに基づく訓練の継続が必要になる。



黒岩地区、避難所運営訓練

今後の運営訓練に一人でも多くの住民に参加いただくことが重要。

岡崎健康福祉課長 福祉

避難所は、現在佐川地区に4カ所、斗賀野地区に1カ所で合計5カ所指定している。

各地区設置は専門スタッフが必要になるので難しい。

想定は、一般避難所開設後に要配慮避難者への対応として開設し受け入れる手順。

福祉避難所運営マニュアルが実際に合っているか検証していく。

問 自主防災組織の活性化を

答 可能な限り対応していく



自主防災組織の活性化を

問 自主防災組織は、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、活動を縮小したり、休止にもなっている。
活動活性化のため助言を。

片岡総務課長 活動再開に向け個別に相談を受け実情を確認の後、可能な限りの対応をしていく。

問 防災士資格取得の取り組みは

答 受験や登録に補助している

問 防災士資格を取得することは、自主防災組織で活躍が期待できる。現在の取り組みの状況と成果について問う。

片岡総務課長 令和3年4月より防災士養成補助事業を施行している。

令和3年度には5名の方が取得している（女性2名）。
補助額は、受験料に対して3千円。認証登録料に對し5千円の補助をしている。



高知県



岡林 哲司 議員

問 地区懇談会、次回は改善を

答 研究工夫し次回開催する

問 佐川地区での参加者は議員を除くと4名、周知が十分で無かったと感じる、改善が必要では。また懇談会の座席の並びが執行部と対面で発言し難かったのではないか。



次回はもっと多くの参加者を

岡田まちづくり推進課長 次回に向け、回覧板、広報誌面、防災無線、LINEなどの告知に加え、日程なども参加しやすいよう計画する。座席の並び等についても意見をしやすいように工夫する。次回に向け近隣の地区懇談会を研究し開催する。

問 より安心して出産育児ができる取り組みを

答 先進地の事例を参考に前向きに取り組む

問 本年度より不妊治療に関わる保険適用の範囲が変更された。町としての取り組みは。また育児中の働く親へのサポートの充実が必要だが、現状は。町としてのサポートが段階的に分かる、課を超えた情報提供を。

岡崎健康福祉課長 佐川 町は県内でも先進的に不妊治療へ取り組んでおり充実した補助制度がある。今後も治療に取り組む方に財政面だけでなく

く、精神面でも寄り添って対応したい。子どもの預かりなど、働く親へのサポートについては、保育園や、放課後教室が休みの日には、有料のファミリーサポートセンター制度がある。また「さくらさいたねつ」というサイトで子育て支援全般の情報を出している。今後行政と民間のサービスを体系的にわかりやすく保護者に届ける媒体を作りたい。

片岡町長 先進地の事例を参考にしながら、不妊治療に関わる支援も含め、佐川で生み育てたい方々の想いに寄り添えるよう総合的に取り組んでいく。



子育ての情報が掲載されている

問 町内河川の水質改善取り組みは

答 浄化槽の補助や自伐型林業で山の保全を

問 仁淀川は昨年度の水質調査で水質が最も良好な河川から外れた、他では平坦地の川でも子どもが遊べる環境を取り戻した例もある。流域の町として水質改善の取り組みは。以前に取り組んでいた水に関する研究はどうなったのか。また浄化槽の設置の状況はどうか。

岡田まちづくり推進課長 独自の水質調査はおこなっていないが、自伐型林業の推進など山の保全や、仁淀川流域交流会議の活動を通じて河川の保全をおこなっている。以前の研究は直接水質に関係はなく、ゴミの焼却灰をブロックにするなどの研究だったが途中で中止となった。残っている資料があれば新文化拠点での活用を考える。浄化槽設置の補助事業で、年間約50基設置している。今後も町で出来る範囲の補助をし、合併浄化槽の設置に取り組む。

さらなる水質改善が必要



高吾北組合議会

8月29日、第3回定例会が開催されました。報告案と認定案、補正予算などの5件の議案が満場一致で可決されました。

認定案は令和3年度の歳入歳出決算で、一般会計の歳入総額は9億9千209万7千508円でした。

一般質問

問 西森勝仁議員

新型コロナウイルスの影響で医療機関が逼迫し救急搬送が問題になっている。

高吾北消防署には救急車は何台あるのか。救急救命士などのマンパワーは充足しているのか。また救急車の装備はどうなっているのか。

ドクターヘリの要請はどうやるのか。ヘリポートは何力所あるのか。

徳弘消防長 消防本部に

予備車を含め3台ある。消防職員50名中、救急救命士の資格を持つ者が18

名おり、救急車には必ず1台に1名以上が同乗することとしている。

救急車の装備は一般的な応急処置の他に心肺蘇生などに必要な高度な資機材等多種多様なものを積載している。

ドクターヘリの出動要請は、通報者から容態を聞き取り、頭や心臓の疾患、また大きなけがが疑われる時は、救急車の出動前に要請をする。

ヘリポートの数は佐川町に4カ所、越知町に8カ所、仁淀川町に20カ所ある。

議案質疑

問 坂本玲子議員

パソコン購入費で特養と養護老人ホームとで差異があるのはなぜか。

小野五葉荘所長 特養はノートパソコン、養護老人ホームはデスクトップの購入で差が出た。

問 西森勝仁議員

決算書の中で、諸収入の計画支援相談給付費収入の171万円増はどういうものか。

また当初予算へは、どう反映させているのか。

谷内事務局長 障害のある方が、医療福祉や就労支援、教育等のサービスを受ける利用計画を作成するとき支援費が発生する。サービス等利用支援費は1万5千220円などである。これに初回加算や特別地域加算が加わる。

予算計上に当たっては、当組合では件数の把握ができないので、町からの資料を基に作成するが、それを超える申し込みがあり増額となっている。



ドクターヘリの重要性

日高村佐川町 学校組合議会

9月16日、日高村佐川町学校組合議会が開催されました。令和3年度一般会計決算の認定と、補正予算の2件でした。

中学校の部活動指導員の報酬費84万5千円の減額については、地域に指導者がいないため減額することです。いずれの議案も全員賛成で認定及び可決されました。

議案質疑

問 藤原利彦議員（日高）

今まで地域の方が卓球クラブの指導をしていたが、地域に任せることになったので出来なくなつたということだが、どうなっているのか。

岩本教育長 地域の方が

休みの日などに学校に来て指導していただいていた。今回、国の方針により練習も試合の引率なども含めてスポーツクラブや個人に委託することになり、それほどのことは無理ということとで辞退の申し出となった。

問 下川芳樹議員

部活動の国の方針は承知しているが、部活動が指導者のいないまま推移しないように。

岩本教育長 現状は部活

の顧問の先生がおり、きちんと練習は出来ている。受け皿の出来るまで先生が指導していくので問題はない。



地域の実情にそった部活動の対策を

問 藤原利彦議員（日高）

給食の原材料費が値上がりしているが、学校給食の値上げの心配はないのか。

片岡副組合長 可能な限り

上げない方向で進めてはいるが、今後値上げの協議をせざるを得ないかもしれない。

全国町村議会広報研修会

広報編集委員会

9月21日、全国町村議会広報研修会に、議会広報編集委員5名と議長が参加しました。西日本の町村議会から約400人集まり、会場は熱気に包まれていました。



「議会だより」の役割と責務を学ぶ機会に

「むずかしく、何が書いてあるか分かりにくい」と捉えられてしまうことが多い「議会だより」です。

その「議会だより」を作っていく議員は情報発信や広報誌のプロでは無い場合がほとんどです。

研修会では、情報発信の創意工夫で住民に伝わ

りやすい議会広報を発行している事例が紹介され、とても参考になりました。

あふれる情報社会の中で、住民に向けて、町政に関わる情報を「議会だより」で積極的に分かりやすい発信をしていく編集のあり方を学ぶ機会となりました。

「伝える」から「伝わる」議会広報をめざして

さらに、全国の議会が発行する議会広報の優秀事例などを見ながら、住民に伝わりやすい表現とはなにか？を研修を通じて学んだことを、これらの議会広報の編集にかاشていきたいと思います。

牧野記念庭園を視察

今回は一泊二日の研修で、二日目は練馬区の牧野記念庭園に視察に行きました。

牧野記念庭園では、牧野博士の曾孫でもある、牧野一淳さんに案内をしていただきました。

朝ドラ「らんまん」との関わりも、しっかりと情報共有出来て、充実した研修日程でした。



学芸員の皆さんと共に（後列中央が曾孫の牧野一淳さん）



【表紙紹介】

佐川町商工会青年部は、9月14日に愛媛県県民文化会館にて行われた「商工会青年部主張発表大会（中国・四国ブロック）」にて優勝し、11月に行われる全国大会への進出が決定しました。

これは高知県の商工会青年部史上初の出来事で、発表者の「尾崎俊一郎氏」による全国優勝への期待が高まっています。



【商工会とは？】

商工会は小規模事業者や、中小企業の皆さまを応援する団体です。

商工会は、地域の様々な事業者が業種に関わりなく会員となっており、お互いの事業発展や、地域発展のために色々な活動をしています。国や県の経済支援策を実行し、事業者の皆さまを支援するために色々な事業を実施しています。

「どんなことをしてくれるの？」

① チャレンジショップ
・空き店舗活用や商業者育成を目的として、チャレンジする場所を提供

② 経営経理支援
・労務、経営相談支援
・経理、税務支援

③ その他
・小規模事業者持続化補助金等の相談窓口
・商工業に関する補助金等の相談窓口

お気軽にご相談下さい。

あれはどうなったが？



問

ツイッター・フェイスブック 開設すべきだ

災害時にどの発信ツールがダウンするかわからない、複数の情報発信手段を公式アカウントで開設しておくべきだ。

(2018年9月定例会 松浦議員)

あの質問のゆくえ

町長答弁

来年度、立ち上げを目標に

行政情報としてのツイッター・フェイスブックの利用に関しては今年度検討を進め、来年度のスタート時点で立ち上げを目標に検討、協議する。

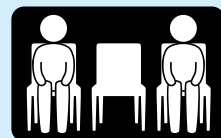
行政防災情報として活用されているLINEの登録者数は1,788人。その他の情報発信ツールとしてFacebook1,597人、Instagram1,667人、Youtube171人となっている。
(2022年10月4日時点)

どう
なった

あなたが選んだ議員の
仕事ぶりを見にきませんか？

次の定例会は12月2日(金)午前9時
開会予定です。傍聴においでください。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため傍聴席に入場
いただける人数を制限する場合があります。



編集後記

光陰矢の如し、議会広報の編集作業も、はや丸一年が経ちました。

先日東京都内で全国町村議会広報委員の研修会があり、全国の優秀賞を受賞した3つの議会広報紙の良い点を研究する内容でした。

その中でもQRコードで一般質問の動画をスマホで視聴できる、議会の活動に対する住民の意見を掲載するなど、議会と住民の距離感が近くなるような取り組みが評価されており、大変参考になりました。

そして、毎回各研修の度に耳にするのが「読まれない広報誌は税金の無駄遣いだ」というものです。携わる以上、より多くの人に興味を持って頂けるよう、紙面の改革に取り組んでまいります。

岡林 哲司

議会広報編集委員会

委員長	田村 幸生
副委員長	齋藤 光
委員	橋元 陽一
委員	山本 和輝
委員	岡林 哲司

※わかりやすい紙面に心がけています。
読後のご感想、ご意見をお寄せください。

特別企画

※今回、地域でがんばるはお休みします。

まきのさんだより

来春にむけて佐川町の新キービジュアルと
ロゴマークが決定しました

※キービジュアルとは、ウェブサイトや
他の媒体において中心となるイメージ
画像のことです。



新キービジュアル



新ロゴマーク

ハナサクサカワ。

サカワは牧野博士が生まれたマチ。
幼少期の牧野博士を育んだ豊かな自然が今もな
お残されています。

牧野少年はこの地で植物への好奇心を開花させ、
その生涯を植物研究に捧げました。

博士が生まれてから160年。博士の植物への想い
は今も受け継がれ、人々が草花でつながりあう町
づくりが進められています。

ワクワクする心が育つマチ サカワ。
心にハナが咲く サカワ。

サカワは、どの季節に來てもハナの真盛り。

※佐川町のPRや、新商品のパッケージ
ジグなどこのデザインの使用を
ご希望の方はまちづくり推進課まで
お問合せください。TEL: 22-7740

まきのさんの道の駅 現在の様子。

来春OPEN!



建物全体の基礎や、建屋の骨組みが出来始めています。

【道の駅の開業準備業務を担当】

一般財団法人

しあわせづくり佐川

道の駅やふるさと納税などを通じて、皆さ
まと共に佐川町の「しあわせづくり」を目指
します！

商品を道の駅に置きたい！佐川町のふる
さと納税の返礼品にしたい！などお考えの
方、ぜひ一度ご相談下さい。

道の駅の商品やイベント等について
ご提案・ご相談をお待ちしております！

TEL: 22-9071

MAIL: mhs@sakawa.or.jp

議会も華やかに

佐川町議会9月定例
会では、まきのポロシャ
ツでの参加を認めてお
りました。

議会初日と最終日に
は議員と執行部全員が
ポロシャツを着用し、牧
野博士生誕160周年と来
春のNHKのドラマ放映と
道の駅のオープンに向
けて議場を華やかに彩
りました。

次号より

「地域でがんばる」を再
開します。

佐川町内で頑張っ
ている団体やグルー
プを紹介していきます。

